



施設情報

入居相談などお気軽にお問い合わせ下さい。

詳しくはWeb「[ウェルケア伊豆高原](#)」で今すぐ検索!!



七夕

7月1日に七夕に向けて、笹を飾りつけました。レクリエーションの時間を利用して、少しずつ増やしていた折り紙飾りや、願いごとを書いた短冊を、ご入居者の方々が思い思いに飾りました。少しの間、ウェルケア伊豆高原の玄関ホールを華やか하게してくれました。



7月5日に、七夕会を開催しました。まずは、七夕の由来についてお話ししました。ご入居者の方々もよくご存知だと思いましたが、楽しくまとめられたアニメ動画がありましたので、そちらを見ていただきました。次に、歌を用いて頭と身体の体操を皆さんと一緒にやりました。進行役のスタッフの話を見ると簡単そうでしたが、実際に行なってみると、歌につられたい、身体につられたいと、難しかったです。頭と身体が乗ってくるのに少しだけ時間が要りましたが、歌のリズムに乗って、身体を動かして、ご入居者の皆さまにも楽しんでいただけました。その後、じゃんけん大会を行いました。お一人だけ、ご入居者を選抜して、1VSほかの皆さんのじゃんけん勝負でした。こちらは、一目でわかるのもあって、ご入居者の皆さまもちょっぴり熱が入っていました。



さて、七夕会のおやつは、水ようかんのフルーツ添えでした。水ようかんは夜空、みかんは三日月、その周りにパイナップルの星を散りばめてみました。七夕は梅雨と重なり、天の川も星空も見られないことが多いです。でも、すてきな星空を想像して召し上がっていただけたらと思えました。そんな想像はともかく、テーブルを囲んで、ご入居者の皆さまは楽しくおやつを召し上がられました。



とまどう生活 ~ウイルスとの共存~



コロナウイルスによる規制が緩和され、いつもの日常に戻っていたが、そんな簡単なものではなかった。コロナウイルスが騒がれて半年もたったが、いまだ特効薬も予防薬もできずウイルスの脅威にさらされている。高齢者介護に携わる人間として、高齢者の健康を守るため、仕事はもちろん、自宅へ帰っても、まずお風呂、綺麗になってから家の中を動くなど、家族にも協力をお願いして生活を送っています。

感染症予防として大事なことなのかもしれないけど、人との関わりも減り、友人ともなかなか会えず、自粛の緩和と言いながら、ソーシャルディスタンスを守り自粛をすることしか出来ない悲しさ、3密を避けるという意味を、最近のニュースを見ながら考えてしまう。

予断を許すことができないコロナウイルス、僕らにできることは感染症を広げない行動と、このウイルスと共存をするための情報集めていくことだと思う。インフルエンザやノロウイルスのように、生活の一部として、注意を怠らないようにしていきたい。N



中庭



今年の梅雨は、大雨の日が長く続きました。また、新型コロナウイルス感染防止のため、外出や面会を控えていらっしゃいました。屋内で過ごせばかりでしたので、雨の上がったちょっとした時間に、中庭の花壇いじりをしました。

また、中庭の菜園や花壇のほかにも、テラスや空き地を利用して、様々なお花や野菜を育てている方もいらっしゃいます。真っ赤に熟したトマトを収穫して、皆さんにおすそ分けしてくださいました。



運営懇談会

8月20日(木)午後2時から、令和2年度運営懇談会を、ウェルケア伊豆高原の食堂で開催いたします。ご入居者やご家族の方々に、ここ1年間についてご報告し、みなさまからのご意見をいただきたいと思えます。お忙しいと存じますが、ぜひお越しください。

今年は、新型コロナウイルス感染防止対策として、手指消毒やマスクの着用などをお願いいたします。なお、マスクは準備いたします。

お誕生日おめでとうございます

今月、誕生日を迎えられた方です。おめでとうございます。



8月の予定

- 19日(水) 三島信用金庫来館
- 20日(木) 運営懇談会
- 26日(水) 移動美容室はしば来館
- 毎週水曜日 ナガヤ買物
- 5・12・19・26日
- 毎週土曜日 こんがりあん移動販売
- 1・8・15・22・29日
- 毎週日曜日 休浴日



編集後記

7月は大雨が続きました。梅雨の終わりには大雨が降ると言われていましたが、梅雨半ばからずっと降り続けていたように思います。伊豆半島では、大雨の影響で、あちらこちらでがけ崩れが発生しました。東海岸の大動脈、国道135号線をはじめ、道路が通行止めになりました。全国各地では、河川の氾濫などで壊滅的な被害を受けた地域もありました。大雨の恐ろしさを改めて実感しました。また、湿度も非常に高く、蒸し蒸しして、じわじわべったりと汗をかくことも多かったです。ご入居者の方々にも、そして、スタッフ同士で、こまめに水分を摂るように気をつけています。さて、私も、天気やら疫病やらで、思うように日々の暮らしを楽しめません。先々を見据えて、暮らしの楽しみ方を見つけなければなりません。ついつい目先のニュースや増えてきた人出に困惑しています。「大丈夫」と「危険」の見極め方を身に付けたいと思っています。(M)